

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募
ソーシャルビジネス形成支援事業 採択事業

事業名 主題	地域活性化ソーシャルビジネス成長支援事業	
事業名 副題	～インパクトが持続的に創出されるエコシステム形成～	
申請時事業名	地域活性化ソーシャルB成長支援	
団体名	一般財団法人 社会変革推進財団（旧：一般財団法人 社会的投資推進財団）	
代表者名	理事長	坂東真理子
解決すべき社会課題	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動;⑥ 地域の働く場づくりの支援; ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	
事業の概要	本事業は、ソーシャルビジネス形成支援及びインパクト評価を実施することで、地域の潜在資源を可視化・価値化し、地域資源のエコシステムの好循環を促し、社会課題が地域で自律的に解決されることを目指すもの。社会課題解決に取り組む、地域資源活用型のソーシャルビジネスに対して、資金的支援（出資・助成）及び非資金的支援（社会的インパクト評価を含む伴走支援）を提供し、地域密着型の金融機関（信用金庫など）からも継続的・安定的融資を受けられるように休眠預金に依存しない事業を育成する。また、社会的インパクト評価のノウハウが地域に根付くように、地域の大学・研究機関と連携する。	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	199,996,100
	PO関連経費	28,000,000
	評価関連経費	18,500,000
	合計	246,496,100

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・オーソドックスなソーシャルビジネス支援事業ではあるが、実績の強みとネットワークによって高い実効性を期待できる。 ・収益モデルの確立していない事業推進期における支援という難易度が高いステージにおいてもしっかりと伴走する意思と具体的な行動イメージを持っている。 ・収益性と社会性の両面に配慮している。 ・社会的インパクト評価においても、実行団体と協議しながら構築していく姿勢がうかがわれる。 ・ソーシャルビジネス形成支援のトライアイルとして期待され、事業実施により得られた学びを社会に還元していただきたい。 ・実行にあたっては、実行団体10組織にインパクトが限定されているため、そちらに偏った支援にならないよう配慮するとともに、本事業から生み出されるインパクトの波及効果が高まるような取り組みが望まれる。
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。